菩提

第64号

◆「復興支援活動を通して」
会長　奥野 秀典……2

◆東日本大震災復興支援活動報告 ……3

◆東日本大震災 活動協力支援金　報告…4

◆被災地支援活動 ……5

◆月命日法要 ……6

◆平成23年度 復興支援バザー
～宮城の元気　ここに集まれ～ ……7

◆東日本大震災物故者一周忌慰霊法要
並びに復興祈願法要 ……8

◆サンタピアップ活動報告 ……9

◆平成23年度 臨時総会開催……10

◆事務局だより ……10

（平成24年１月11日南三陸町防災対策庁舎に於いて）

「復興支援活動を通して」

宮城県曹洞宗青年会
会長　奥野秀典

早いもので東日本大震災から一年が過ぎました。皆様にとって今まで経験したことのない大変な一年であった事と拝察致します。この一年間の活動を振り返りますと、基幹となる月命日法要に於いては、各教区御寺院様・教区青年会様の深い御理解と絶大なるご協力によって予定しておりました十の教区（地域）でご供養させていただく事が出来ました。

月命日に際しては、事前に教区青年会様と会場の選定から法要差定、広報の方法、行茶の内容等の協議を重ね、被災された方々の心の安らぎを第一に考え、月命日当日はご随喜頂いた教区御寺院様、教区青年会様と一体となって法要を厳修させて頂きました。さらに法要前後の行茶活動に於きましては、お茶やお菓子を提供させて頂く中で参列者同士の再会の場となり、今被災者が抱えている苦悩に耳を傾け、被災者の心に寄り添う時間となりました。以上の活動は会場となった近隣教区の御寺院様、教区青年会様を中心に、他県宗務所様、他県曹青会様、特別会員様、地元の業者様のご協力があって実現出来たことと改めて感謝申し上げます。

また、例年行っていたカンボジア教育支援チャリティバザーは現状を鑑み、復興支援バザーとして開催いたしました。会場に来て頂いた方々に対する炊き出し、低価格での物品提供を行い、その売上金は当会の活動を通して被災者に直接お届けする事を目的に活動いたしました。物品を提供頂きました県内御寺院様、他県曹青会様ご協力のもと、自ら被災されたにも関わらず快く会場をお引き受けいただいた第十七教区双林寺様をはじめ、教区御寺院様、寺族会様、近隣教区青年会様、特別会員様、地元業者様には事前の準備から参加を頂き、当日は販売・炊き出し・会場整理等のお手伝いをいただき無事円成することが出来ました。

宮城県宗務所様からは今年度の現職研修会に於いて当会の復興支援活動をお知らせする機会を設けていただき、広く県内御寺院様に活動内容を報告する事ができました。

三月五日に開催された宗務庁主催両本山猊下御親修東日本大震災一周忌法要・復興祈願法要においては、当会に法要係・会場係が依頼され、当日の悪天候にも関わらず多くの随喜により、被災された檀信徒に対し宗門が掲げる「向きあう・伝える・支えあう」活動の一助となった事と存じます。

今年度は片付け作業や炊き出し等の活動も含め全ての事業に対し多くの会員の方々にご参加、ご随喜をいただきました。この事は青年宗侶として「目の前の苦しんでいる人々を救いたい」という思いの表れであり、会員一人一人の力の結集であります。

来年度も復興支援の水を涸らす事無く、一滴一滴を注ぎ続けて参りたいと存じます。当会に対しまして今後とも皆様の御指導ご鞭撻、活動の御理解ご協力をお願い申し上げます。

合掌

東日本大震災復興支援活動報告

日　時	活動内容
平成23年 ３月19日	ローソクなどの物資を法山寺様に搬入 石巻の被害状況を視察
３月25日	全曹青の支援物資（トラック１台分）を気仙沼に搬入 他県の青年会からの物資を慶雲院様にて仕分けの後、気仙沼に搬入
３月28日	同じく慶雲院様に届いた支援物資を志津川、女川、石巻に搬入
４月４日	13教区永巌寺様　境内片付け作業　16名参加 19教区當行寺様　境内片付け作業　14名参加 （第６教区青年会様作業に加担、宮曹青２名参加）
４月５日	19教区當行寺様　境内片付け作業　11名参加 （第６教区青年会様作業に加担、宮曹青１名参加）
４月６日	11教区壽昌院様　境内片付け作業　16名参加 （第11教区青年会様作業に加担、宮曹青12名参加） 19教区當行寺様　境内片付け作業　11名参加 （第６教区青年会様作業に加担、宮曹青２名参加）
４月７日	４教区高林寺様　境内片付け作業　13名参加 （第４教区青年会様作業に加担、宮曹青８名参加）
４月11日	１教区東禪院様　境内片付け作業　24名参加 （第１教区青年会様作業に加担、宮曹青１名参加・神奈川曹青14名参加）
４月12日	１教区東禪院様　境内片付け作業　29名参加 （第１教区青年会様作業に加担、宮曹青５名参加・神奈川曹青14名参加） 13教区多福院様・松巌寺様　境内片付け作業　12名参加 （第13教区青年会様作業に加担、宮曹青９名参加） 19教区正福寺様　境内片付け作業　９名参加 （第６教区青年会様作業に加担、宮曹青１名参加）
４月13日	19教区正福寺様　境内片付け作業　７名参加 （第６教区青年会様作業に加担、宮曹青1名参加）
４月14日	19教区長徳寺様・正福寺様　境内墓地片付け作業　34名参加 （第６教区青年会様作業に加担、宮曹青１名参加・山形曹青28名参加）
４月15日	蔵王町社会福祉課に支援物資（男女大人用下着、子供用下着、服）を提供
４月19日	11教区長音寺様　境内片付け作業　６名参加 （第11教区青年会様作業に加担、宮曹青１名参加）
４月26日	13教区保福寺様にて120名分炊き出し　28名参加
５月13日	気仙沼市唐桑町さんさん館（避難所）にて80名分炊き出し　17名参加
５月24日	東松島市宮戸地区縄文村にて500名分炊き出し　34名参加 （神奈川県第二宗務所様炊き出しに加担、宮曹青12名参加）
６月３日	13教区洞仙寺様　境内片付け作業　16名参加
６月８日	13教区多福院様　境内片付け作業　17名参加
	※以降、宮曹青第22期
６月11日	月命日法要、行茶活動　３教区養松院様に於いて　25名参加　参列者130名
６月16日	19教区普門寺様　境内墓地片付け作業　14名参加（兵庫第二宗務所青年会７名参加）
６月22日	松島町品井沼　農業改善センター避難所にて炊き出し　昼食、夕食160食提供　9名参加
６月27日	19教区普門寺様　境内墓地片付け作業　16名参加（山形曹青会38名・栃木曹青会８名参加）
７月８日	韓国曹溪宗・曹洞宗合同　東日本大震災物故者慰霊法要　【会場：２教区林香院様】 （東北管区教化センター様より随喜依頼　宮曹青役員10名参加）
７月11日	月命日法要、行茶活動　１教区東禪院様に於いて　42名参加（参列者110名） （栃木曹青会15名参加）
７月19日	11教区長音寺様　境内墓地片付け作業　15名参加

日　時	活 動 内 容
７月26日	19教区鳳仙寺様　墓地片付け作業　17名参加（栃木曹青会６名・静岡曹青会４名参加）
９月11日	月命日法要、行茶活動　セラホール名取様（４教区内）に於いて　35名参加 参列者210名
10月１日	復興支援バザー　17教区双林寺様に於いて　前日準備含め延べ　143名参加 来場者465名
10月11日	月命日法要、行茶活動　菩提樹矢本様（11教区内）に於いて　37名参加　参列者80名
11月11日	月命日法要、行茶活動　観音樹様（12教区内）に於いて　40名参加　参列者130名
12月５日	傾聴行茶活動　山元町内仮設住宅に於いて　（全曹青活動に加担、宮曹青２名参加）
12月６日	傾聴行茶活動　亘理町内仮設住宅に於いて　（全曹青活動に加担、宮曹青２名参加）
12月11日	月命日法要、行茶活動　13教区梅渓寺様に於いて(13教区様と共催) 55名参加　参列者500名（山形県第３宗務所様10名参加）
平成24年 １月11日	月命日法要　15教区徳性寺様、西光寺様、南三陸町防災対策庁舎に於いて　９名参加
２月11日	月命日法要　気仙沼市斎場（16教区内）に於いて「身元不明者遺骨慰霊法要」　25名参加
３月５日	『東日本大震災物故者１周忌法要並びに復興祈願法要』　仙台サンプラザホールに於いて （両猊下御親修、宗務庁主催法要に加担）　来場者約1500名、宮曹青88名参加
３月５日	月命日法要（19教区主催一周忌法要に加担）19教区長徳寺様に於いて　宮曹青13名参加
３月11日	全曹青主催東日本大震災一周忌法要、福島県伊達市成林寺様に於いて　宮曹青２名参加
３月12日	傾聴行茶活動（全曹青活動に加担）、亘理町内仮設住宅　宮曹青３名参加
３月13日	傾聴行茶活動（全曹青活動に加担）、亘理町内仮設住宅　宮曹青１名参加

東日本大震災　活動協力支援金　報告

東日本大震災発生後、宗門内外の多くの方々より当会に活動協力支援金を頂戴いたしました。ここにご報告させて頂くと共に厚く御礼申し上げます。

尚、活動協力支援金は会務の運営、復興支援活動に充てさせて頂いております。

◎本山・県外他団体

大本山總持寺貫首　江川辰三　猊下
財団法人全日本仏教会

◎全国曹青会

全国曹洞宗青年会
東北地区曹洞宗青年会連絡協議会
曹洞宗石川県青年会
新潟県曹洞宗青年会
秋田県曹洞宗青年会
北海道第二宗務所六教区空知青年会
山口県曹洞宗青年会
山形県曹洞宗青年会
青森県曹洞宗青年会

◎県外宗務所

神奈川県第二宗務所
三重県第二宗務所

◎県外寺院

兵庫県　自性院
大阪府　春陽軒

◎県内宗務所・諸団体

曹洞宗宮城県宗務所
第５教区
第５教区発心会

◎県内寺院

第４教区秀麓齋
第５教区繁昌院
第５教区大光寺
第16教区宝鏡寺

◎県内青年会・宮曹青賛助会員・個人

第１教区青年会
第２教区青年会
第３教区青年会
第４教区青年会
第５教区青年会
第６教区青年会
第７教区青年会
第８教区青年会
第９教区青年会
第10教区青年会
第12教区青年会
第16教区青年会
第17教区青年僧侶の会
第20教区青年会
第21教区青年会
㈱アリコ 阿部康幸
仙台市　佐藤和夫

＜順不同、敬称略＞ 平成24年３月31日現在

被災地支援活動

当会では震災発生後、宗門内外の各方面からも物資提供等の協力をいただき、津波被災地を中心に「炊き出し」「清掃・片付け作業」を行ってまいりました。
また、「炊き出し」では特別会員様にご協力頂き、被災者の皆様にお届けいたしました。

『月命日法要』

当会では震災後の「炊き出し」「清掃・片付け作業」に引き続き、被災地復興支援活動として昨年６月から毎月１１日に東日本大震災被災物故者への慰霊として県内各地で月命日法要を修行させていただきました。（８月を除く、他団体主催行事に加担を含む）

また、法要会場を提供していただきました御寺院様ならびに葬儀社様、炊き出しにご協力いただきました特別会員様、法要に御随喜ご加担いただきました宗門御寺院様に厚く御礼申し上げます。

13教区梅渓寺様での月命日法要

３教区養松院様での月命日法要

セラホール名取様で法話する北村副会長

菩提樹矢本様での月命日法要

導師を勤める奥野会長

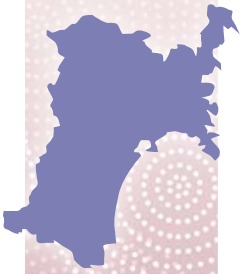
13教区様との共催月命日で
導師を勤める教区長老師

炊き出し

15教区西光寺様

南三陸町防災対策庁舎

平成二十三年度 復興支援バザー
～宮城の元気　ここに集まれ～



平成二十三年十月一日（土）栗原市築館、第十七教区双林寺さまを会場に、震度七という大地震に見舞われた栗原市近郊地域の方々に対する直接的な支援を目的とした復興支援バザーが開催されました。

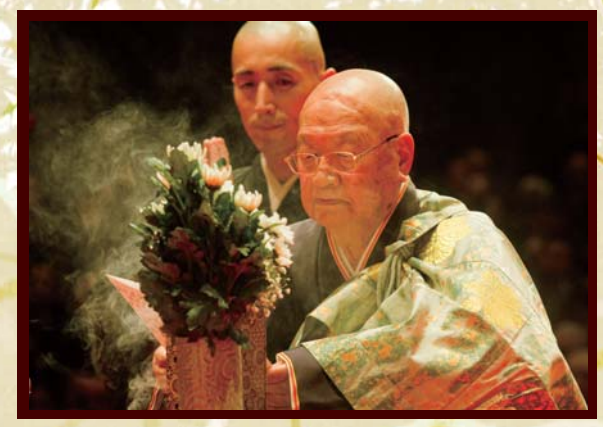
今回は、震災の影響によりまず物品数の減少が危惧されましたが、兵庫県曹洞宗青年会様・山形県曹洞宗青年会様から大量の物品をご提供賜り、県内外の御寺院さまの温かいお力添えを頂き、お蔭様にて三八〇〇点もの商品を販売することができました。また、寺院での開催や外での炊き出しなど初めて試みる事柄も多く、心配は多々ありましたが当日は絶好の好天にも恵まれ、十七教区様の多大なるご尽力により大勢の方々（延べ四六五名）がご来場され、大盛況のうちに無事目的を果たすことが出来ました。

この度のバザーでは、皆多忙を極める中で近年にない程大変多くの会員が参加されました。これは偏に「被災された全ての方々が、一刻も早く平穏な日々を取り戻されることを願う」会員一同の思いの表れであると受け止めます。

今後も青年僧として、共に願い、共に模索し、全ての犠牲者に報いる為にも、全身全霊与えられた使命を全うしていくことを誓い、多大なるご協力とご支援を賜りましたすべての皆様に心から厚く感謝を申し上げ、御礼方々ご報告と致します。

ボランティア委員長　坂本　顕一

■参加者：143名。（２日間延べ）
・９月30日（準備）合計　84名
・10月１日（当日）合計　59名
※17教区様・寺族会様、協力者含む
※ご協力業者　地元「山月社」様
■来場者：465名（延べ）
■販売商品数：3,800点
■売上金額：￥948,900円
■会場募金：￥87,721円
※募金は、「宮城県災害対策本部」に義援金として全額お届け致しました。
■炊き出し：豚汁・笹かま・玉こん
※炊き出し協力　仙台「みぶな」様



紫雲臺猊下【復興祈願法要】

不老閣猊下【物故者一周忌慰霊法要】

東日本大震災物故者一周忌慰霊法要並びに復興祈願法要

『東日本大震災物故者一周忌慰霊法要並びに復興祈願法要』が両大本山猊下御親修のもと、平成二十四年三月五日仙台サンプラザホールに於いて厳かに執り行われました。

当日は悪天候のなか約千五百名の方々が参列され、当会からも法要係・会場係を中心に八十八名が随喜加担させていただきました。

慰霊法要に随喜する会員

慰霊法要の様子

祈願法要に随喜する会員

祈願法要の様子

サンタピアップ活動報告

SVAカンボジア事務所・所長来訪

「交流会」が開催されました
平成二十三年十月二日　於：仙台市「亜門」
※希望をテーマに、カンボジアの子どもたちが描いた「希望の絵」一〇八枚が寄贈されました。
※カンボジアの方々が行なった復興支援活動で集められた義援金募金　三四〇〇〇〇リエル（六八一三円・カンボジア教師の給料二ヶ月分）が当被災地への義援金として託されました。
◎託された義援金は、「日赤宮城県支部」へ経緯をお伝えしつつお届け致しました。

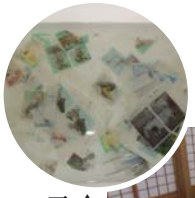
カンボジアフェアin SELVA

平成二十三年十二月十五日～十六日
於：仙台市泉区中央「SELVA」店内
※クラフト販売売上（純益）六千四百円
※カンボジア洪水被害に対する募金活動
・募金合計　一四五九〇円
（義援金として送金）
※「カンボジアからの震災見舞い」のご紹介

◎SELVA様には、会場使用料を無償にてご提供頂き、何かとご配慮を賜りました。また、今回も星山コーヒー様よりコーヒーの無償提供を頂き、ご来場の皆様にも大変ご好評を賜りました。

ハガキリサイクルキャンペーン報告

平成二十四年二月十三日～十四日
於：石巻市大森　建立寺（事務局）
※集計作業　参加人数二十二名（2日間延べ）
※集計結果　・書き損じハガキ　八七〇一枚
・切手二千百三枚（金額換算　七〇八八八円）
・期間中に寄せられた募金　一八七七二円
◎ハガキや切手をご提供下さった方の中には、甚大な被害に遭われ自身が被災されつつも、当会の活動に深くご理解を示され、励ましのメッセージを添えて送って下さった方も多くおられました。
期間中に、石巻市や仙台市から会場である当事務局まで直接ご持参下さった支援者もおられましたことをご報告申し上げます。



↑被災した切手を一枚一枚剥がすところ

その他の活動

㈳SVAシャンティ国際ボランティア会　三十周年　記念式典

平成二十三年十二月十日　於：東京グランドホテル
※基調講演・各支部活動報告等
◎当会から二名、表敬訪問致しました。
映画「僕たちは世界を変えることができない」・「仙台ムービックス」・「ワーナーマイカルシネマズ石巻」
※チラシ設置（各館五百枚）
※ワーナーマイカルシネマズ石巻では、上映期間中「希望の絵」も展示。
◎学生ボランティアがカンボジアに学校を建てるまでの奮闘が描かれ、「僕せか」の愛称で人気

平成二十三年度支援内容

「ボッベン小学校へ文具の贈呈」

平成二十三年十一月十六日
※文具・スポーツ用品の贈呈　十万円相当
◎ボッベン小学校（二十二年度建設）への追加支援させて頂くことが出来ましたことに、深く感謝申し上げます。

書き損じハガキの送り先

〒九八六―〇一九九
石巻市相野谷字五味前二番七―一
河北郵便局留「サンタピアップ」宛

支援金の送り先

郵便振替口座
名義　サンタピアップみやぎボランティア会
口座番号　02290―6―48744

事務局

〒九八六―〇一二一
石巻市大森字水出七　建立寺内
TEL/FAX　〇二二五―六二―〇八八〇
（専用）
E-mail：info@santapi.com
事務局長　坂本　顕一
ホームページ更新（二十三年度版）
http://www.santapi.com/

平成23年度　臨時総会　開催

去る12月12日午後3時30分より秋保ホテルニュー水戸屋に於いて「平成23年度臨時総会」が40名（委任状62通）出席のもと開催されました。議長には第14教区　大慈寺　高橋信弘師が選出され、議長進行のもと次の議案について審議され、全て承認されました。

【審議事項】
（1）東日本大震災復興支援活動中間報告
（2）東日本大震災被災物故者「一周忌法要」について
（3）平成23年度補正予算（案）

最後に本田監事の閉会宣言を以って終了した。

臨時総会終了後、当会副会長北村暁秀師を講師に迎え『避難所寺院の実情に学ぶ』をテーマに研修会が行われ避難所の実情をお話頂きました。

講演中の北村副会長

第19教区主催東日本大震災物故者一周忌法要

平成24年3月5日午前10時より第19教区長徳寺様を会場に『第19教区主催東日本大震災物故者一周忌法要』が厳修され、当会よりも13名の会員が随喜加担させていただき、震災により亡くなられた物故者の御霊を供養させていただきました。

導師を勤める教区長老師

→焼香する参列者の方々
↑一周忌法要会場

事務局だより　～今後の予定～

◇4月19日
宮曹青「定例総会」
「合同委員会」
於　ホテルニュー水戸屋

◇5月25日
全国曹洞宗青年会「定期総会」
於　曹洞宗檀信徒会館

編集後記

本年度は復興支援活動に事業が特化したため、『無聖』64号もそれに合わせた形での記事掲載となりました。ご高覧いただき、当会活動へのご理解とご協力の一助となれれば幸いです。

無聖 第64号（平成24年3月31日発行）

表紙題字　宗務所長 三宅良憲 老師
編　　集　宮城県曹洞宗青年会
発 行 人　奥野　秀典
事 務 局　名取市愛島小豆島字清水坂149-1　慶雲院内
TEL・FAX　022-382-1810（専用）
U R L　http://www.miya-sousei.com
e-mail　info@miya-sousei.com

R70 古紙配合率70%再生紙を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK 環境に優しい大豆油インキを使用しています
ホームページはこちら　みやそうせい　検索